

「巨大噴火・津波の痕跡と、遺跡を巡る旅」参加者募集!

噴火湾沿岸では豊かな海の恵みに支えられ、ずっと昔から人々の暮らしが続いてきました。ここ数年、北海道博物館や伊達市噴火湾研究所による研究が進み、異常な規模で起こった自然災害と、それを乗り越えてきた人々の姿が明らかになりつつあります。縄文時代を代表する「入江・高砂貝塚」、有珠山噴火災害の歴史を残す「文政火砕流の碑」「アルトリ海岸」「カムイタブコブ遺跡」を周るバスツアーに参加してみませんか?

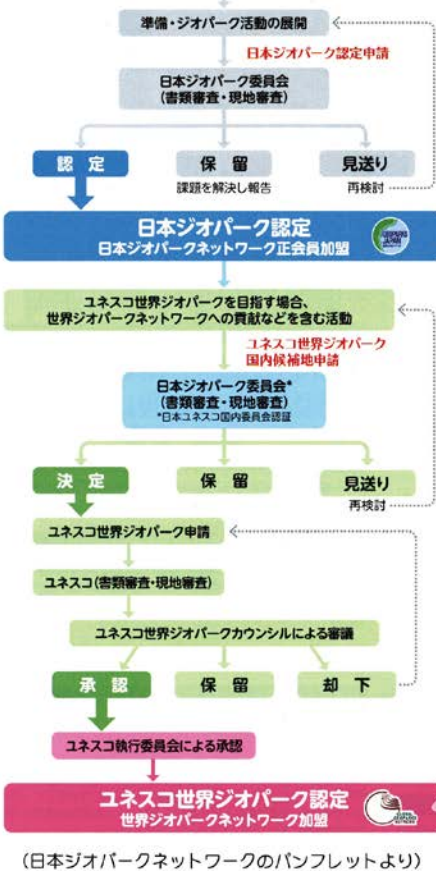


調査が進むカムイタブコブ下遺跡
(伊達市有珠地区)

開催日：平成30年10月13日(土) 9:00-12:00
 集合場所：洞爺湖町役場駐車場。
 対象：どなたでも(ただし内容は中学生以上です)
 参加費：無料!
 申込先：洞爺湖有珠山ジオパーク推進協議会 TEL (0142) 74-3015
 mail: info@toya-usu-geopark.org
 定員：40名 ※定員になり次第、受付を締め切ります。
 主催：北海道博物館 共催：洞爺湖有珠山ジオパーク推進協議会

ジオパークになるには?

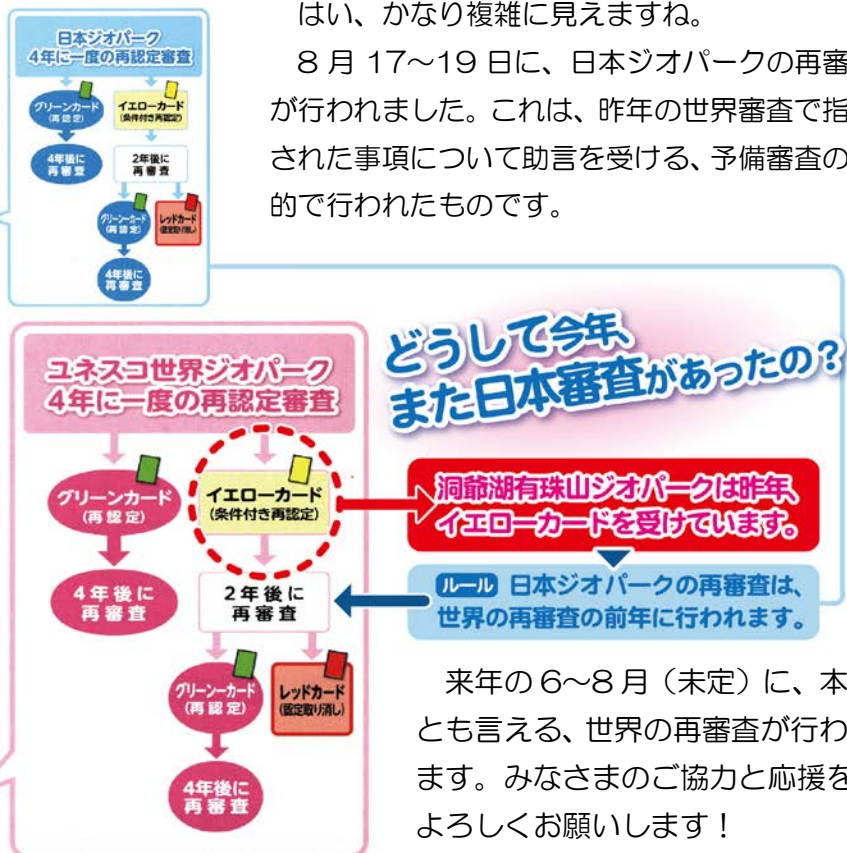
日本ジオパークを目指す地域は、日本ジオパークネットワークの準会員となる



ジオパーク再審査って、複雑!?

はい、かなり複雑に見えますね。

8月17~19日に、日本ジオパークの再審査が行われました。これは、昨年の世界審査で指摘された事項について助言を受ける、予備審査の目的で行われたものです。



ジオパークとは、大地の成り立ちと、自然、人間とのつながりを楽しく学ぶことができる地域のこと。国内には「ユネスコ世界ジオパーク(国際認定)」が9地域、「日本ジオパーク(国内認定)」が43地域あります。